

# 海国兵談 目録

第一卷 水戦

第二卷 陸戦

第三卷 軍法並び物見

第四卷 戦略

第五卷 夜戦

第六卷 撰士並び一騎前

第七卷 人数組 附 人数扱

第八卷 押前、陣取、備立並び宿陣、野陣

第九卷 器械並び小荷駄 附 糧米

第十卷 地形並び城制

第十一卷 城攻め並び攻具

第十二卷 籠城並び守具

第十三卷 操練

第十四卷 武士の本体並び知行割人数積・制度法令の大略

第十五卷 馬の飼立仕込様 附 騎躰の事

第十六卷 大尾略書

初巻から十五巻までは水陸戦闘のことを述べている。略書は文武相兼ねて国家を治め民の生活苦を救い、食糧を満たし、兵を充足することの意義を言うことで大将の心得とし、兵の心印とする。読者は身に取って工夫を付けてもらいたい。